

臨床の基本からデジタルの活用まで 歯科臨床の知識と技術を アップデート!

医療技術の進歩は日進月歩であり、歯科医師には常に最新の技術と知識を習得し、臨床力を身につける必要がある。一方で、患者が抱えるさまざまな疾患や悩みには、種々の原因因子や関与因子が複雑に絡み合っていることが多い。そのため、開業医、勤務医は幅広い分野をバランスよく勉強し、歯科全般にわたる診断能力と手技の向上が求められる。本書では、日々臨床手技の研鑽に努めるスタディーグループ・上田塾の会員の先生方に、一つ一つの臨床のステップや長期予後を得るためのエッセンスについて症例を交えて解説いただいている。基本的な臨床手技はもちろん、ワンランク上の治療テクニックの習得を目指す先生方の要望に応えるため、歯内療法、歯周治療、保存修復、クラウン・ブリッジ、有床義歯、咬合誘導、インプラント、口腔外科の8領域における歯科臨床の技とコツを凝縮した読みごたえのある一冊である。



技とコツ 歯科臨床の

ここが知りたい

詳しい情報はこちら



【監修】上田秀朗 (福岡県開業)
【編集委員】中島稔博 (福岡県開業)
白土 徹 (福岡県開業)

Contents

第1章 歯内療法

- ① マイクロスコープを用いた歯内療法 ② 効率的な根管形成

第2章 歯周治療

- ① 症例を通して歯周基本治療・非外科的療法を考察する
② 歯周外科治療における術式のポイント ③ 歯周治療における力への対応

第3章 保存修復

- ① コンポジットレジン修復成功のコツ ② CAD/CAMインレー
③ 口腔内スキャナーによる修復処置

第4章 クラウン・ブリッジ

- ① 前歯部における支台歯形成 ② 前歯部における歯肉圧排
③ マイクロスコープを使った支台歯形成・印象採得

第5章 有床義歯

- ① パーシャルデンチャーにおける欠損の捉え方 ② 総義歯製作の勘どころ

第6章 咬合誘導

- ① 不正咬合の原因除去“5つの手段” ② 拡大装置を用いた小児の咬合誘導

第7章 インプラント・口腔外科

- ① 下顎臼歯部欠損症例 臨床でよくある水平性骨吸収への対応
② 天然歯を模倣した形態の臼歯部インプラント修復治療の勘どころ
③ 前歯部インプラント治療のポイント ④ 抜歯の勘どころ



A4判変型・116頁・オールカラー
本体7,500円+税

取扱店

D_o 株式会社 デンタルダイヤモンド社

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル
TEL. 03-6801-5810(代) / FAX. 03-6801-5009

DD homepage URL
<https://www.dental-diamond.co.jp/>

10 Limited Tactics of Orthodontic Treatment

部分矯正

その臨床応用のすべて

【著者】米澤大地(兵庫県開業)

部分矯正で あなたの臨床の幅がぐんと広がる

部分矯正の各オプションの治療期間や流れの把握はもちろんのこと、どんなニーズに応用できるのか、その際の注意点は何か。臨床医として知っておきたい矯正のテクニック、勘どころも満載。この1冊で、補綴やインプラントの前処置、咬合誘導、審美治療など、臨床のありとあらゆる場面での部分矯正の活用法がわかる!



A4判・252頁・オールカラー
本体14,000円+税

Contents

PROLOGUE 部分矯正概論

PART 1: 治療目的別テクニックをマスターする

- 第1章 歯牙挺出
- 第2章 叢生の改善
- 第3章 アップライト(整直)
- 第4章 圧下(前歯部・臼歯部)
- 第5章 根近接改善
- 第6章 成長期の歯列弓の拡大
- 第7章 対合関係改善のための狭窄歯列の拡大
- 第8章 臼歯部のクロスバイトの改善
- 第9章 埋伏歯の牽引
- 第10章 捻転歯の改善

PART 2: アドバンス症例への部分矯正

- 第1章 病的歯牙移動(PTM)の改善
- 第2章 難易度が高く、予後が期待できない部分矯正
- 第3章 部分矯正の包括的治療への応用
- 第4章 保定と咬合
- 第5章 矯正治療の問題点:「安易さ」への警鐘

◎ブライヤーリスト

詳しい情報はこちら

